

かけがわ

市議会だより

平成31年2月定例会の内容をお知らせします。

第 67 号

令和元年5月1日

シリーズ
第8回

おもな内容

市議会って？	2 ページ
会派代表質問	3 ページ
当初予算の概要	4 ページ
当初予算委員長報告	5 ページ
補正予算の概要	6 ページ
一般質問	7 ページ
審議結果一覧	13 ページ
政策提言	14 ページ
特別委員会委員長報告	15 ページ
傍聴席／6月定例会の予定	16 ページ



中央「ウィンナーも〜らい! (大東地区の畑の一角で屋台村イベント)」左下「夕焼けに染まる『田園空間博物館』 (大須賀地区山崎)」右下「台風被害から蘇った垂木の大杉」

シリーズ “市議会って?” ⑧

市議会って何をするとところ?
市議会議員はどんな仕事をしているの?
素朴な疑問にシリーズでお答えします。

今回は、
いちぶじむくみあいぎかい
一部事務組合議会について!



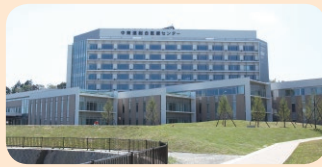
茶のみやきんじろう
©掛川市

いちぶじむくみあいぎかい 一部事務組合議会

一部事務組合とは、行政の効率化を図るため病院やごみの処理、火葬、河川に関する
ことなど、特定の事務を市町を越えて共同して取り組むものです。一部事務組合を設置する
ことで、広域的に幅広く活用されるなど質の高い住民サービスの提供が可能となります。

掛川市議会議員が所属する一部事務組合

- 掛川市・袋井市病院企業団
(掛・袋)
定数 10 人中▶掛川市議 5 人
中東遠総合医療センターの
運営



- 太田川原野谷川治水水防組合
(掛・袋・磐・森)
定数 12 人中▶掛川市議 3 人
太田川、原野谷川の水防や改良事業促進



- 東遠学園組合
(掛・菊・御・森)
定数 8 人中▶掛川市議 3 人
各年代に応じた発達支援、
家族支援、地域支援



- 東遠地区聖苑組合
(掛・菊)
定数 10 人中▶掛川市議
5 人
火葬場の管理運営

- 中東遠看護専門学校組合
(掛・菊・袋・磐・御・森)
定数 17 人中▶掛川市議 3 人
中東遠看護専門学校(東海アク
シス)の管理運営



- 掛川市・菊川市衛生施設組合
(掛・菊)
定数 10 人中▶掛川
市議 6 人
ごみ処理施設(環境
資源ギャラリー)の
管理運営



- 東遠広域施設組合
(掛・菊・御・牧)
定数 14 人中▶掛川市議 4 人
し尿処理場等の運営

- 小笠老人ホーム施設組合
(掛・菊・御)
定数 6 人中▶掛川市議 2 人
小笠老人ホーム(小笠の郷)の
運営



- 浅羽地域湛水防除施設組合
(掛・袋・磐)
定数 10 人中▶掛川市議 3 人
湛水防除施設の管理運営
※湛水被害とは、排水能力の不足などにより不要
な水がたまり農作物などが被害を受けること

- 東遠工業用水道企業団
(掛・菊・御・牧)
定数 8 人中▶掛川市議 2 人
工業用水道事業の経営

※ 掛▶掛川市／菊▶菊川市／袋▶袋井市／磐▶磐田市／御▶御前崎市／牧▶牧之原市／森▶森町

平成31年度当初予算の概要

「子ども未来応援予算」

2月定例会では、平成31年度の施策方針、予算・施策が示され、本会議・各常任委員会での議論・審査を経て、原案どおり可決されました。

総額 797億4,587万円 (対前年比23億4,591万円 3.0%増)

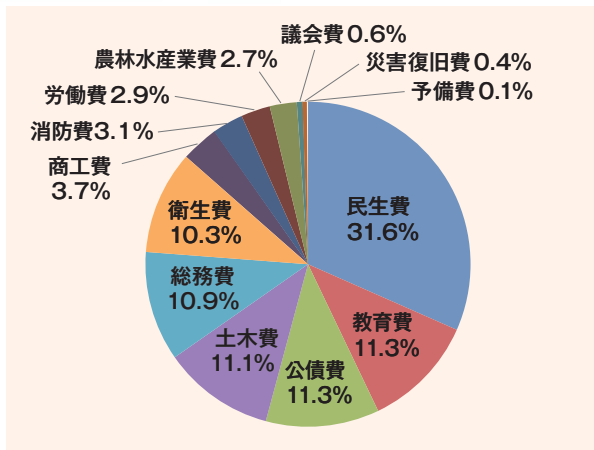
一般会計 481億5,000万円 (対前年比10億9,000万円 2.3%増)

特別会計 271億5,906万円 (対前年比12億5,600万円 4.8%増)

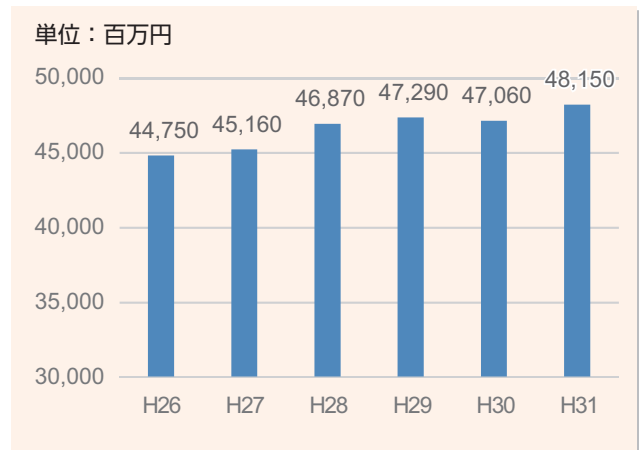
企業会計 44億3,681万円 (対前年比9万円 0.002%減)

※特別会計：国民健康保険、後期高齢者医療保険、介護保険、公共下水道など14会計
 企業会計：水道事業

歳出予算構成比（一般会計：目的別）



当初予算額の推移（一般会計）



予算の主な内容

重点施策1 掛川への新しいひとの動きをつくる **11.8億円**

- ・バス交通対策事業（自主運行バス、掛川大須賀線など）.....1億7,828万円
- ・ラグビーW杯及び東京オリンピック・パラリンピック推進事業4,250万円

重点施策2 掛川にしごとをつくり安心して働けるようにする **18.2億円**

- ・企業誘致対策（企業立地促進事業費補助金、産業立地奨励事業費補助金）...4億7,786万円
- ・就労継続支援事業4億2,500万円

重点施策3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる **38.3億円**

- ・認定こども園施設整備事業（ちはま・横須賀・きとう・智光）...10億8,121万円
- ・子ども医療助成事業5億6,558万円
- ・放課後児童健全育成事業（学童保育）3億1,322万円
- ・小中学校施設補修事業費（トイレ洋式化ほか）2億6,218万円

重点施策4 明日の掛川をつくり豊かで潤いのある安心な暮らしを守る... **53.1億円**

- ・海岸防災林強化事業・希望の森づくり推進事業4億2,256万円
- ・地区まちづくり協議会交付金1億2,235万円

当初予算 委員長報告

当初予算の審議に絡んで各常任委員会へ付託された議案に対する質疑等の内容を、委員長報告より抜粋してお知らせします。

総務委員会

委員長 二村 禮一

広報費について

Q 今はポルトガル語版の広報誌を2,000部作成しているが、中国語など他の言語も検討する必要があるのではないか。

A 外国人の傾向も調査しながら検討が必要だと思っています。多言語版のホームページでは、中国語を含め5カ国語に対応しています。

公共施設マネジメント 推進費について

Q 長寿命化計画策定のスケジュールについて伺う。

A 12月までには、再配置計画の方針を出したいと考えています。その中で、長く使っていく方針の施設は長寿命化計画を策定していきます。

防犯対策費について

Q 防犯カメラの設置場所について伺う。

A 設置する場合には現地調査をして、市街地の交流人口が多い所に集中して設置していきます。

環境産業委員会

委員長 小沼 秀朗

商工費について

Q 中小企業振興基本条例が昨年施行されたが、新たな振興策を伺う。

A キャッシュレス推進事業費補助金の新設や中小企業振興計画策定委託料を計上します。また、光・電子技術を活用した中小企業支援策等を西部地域一帯で行っているフotonバレーセンターに参加します。

大坂・土方工業用地整備事業 特別会計予算について

Q 契約予定額の10%の売り払い収入を計上していることを伺う。

A 掛川市は、リスク回避等を鑑み、現地測量や詳細調査をする前の状態で販売活動し、契約後に造成工事着手するオーダーメイド方式を導入しています。今回も造成前土地販売として、契約予定額10%を手付金としていただきます。

緑茶活用調査研究事業費 について

Q どのような研究に協力するのか。

A 静岡県立大学で予定されている「お茶の認知症予防効果研究」が実施された場合に、協力していきます。

文教厚生委員会

委員長 松本 均

認知症の方やその家族への 対応について

Q 認知症対策として、認知症カフェを設置するとのことだが、運営はどのように行うのか伺う。

A 4月から中央図書館・大東苑で、月1回の開催を予定している。本人やその家族だけでなく、介護スタッフや地域の方々が気軽に立ち寄れるカフェを目指します。

保健活動費について

Q 特定健診の受診率が伸び悩んでおり、AIを取り入れて、受診率アップを図るとは、どのような事か伺う。

A 今までの受診傾向や受診行動のデータ分析を行って、その人の性格に合わせた内容の受診勧奨通知を送り、受診率の向上を図ります。

保育士等就職応援資金 貸与事業の概要について

Q 県の貸与制度を利用していても、対象になるのか伺う。

A 県の貸付制度や奨学金制度を利用していても、条件がクリアしている方は、対象となり申請が出来ます。

平成30年度一般会計補正予算(第6号・第7号)の概要

「待機児童対策、被災農業者や被災農業用施設に対応」

専決処分承認 補正予算(第6号) 1,723万円

補正予算可決 補正予算(第7号) △4億8,386万円

補正後の予算額 484億6,373万円

■主な補正の内容

補正予算(第6号)

保育園等施設整備費 5,351万円→7,074万円
1,723万円増額

◆待機児童対策のため、4月に開園の小規模保育事業所2箇所を整備するための増額

補正予算(第7号)

①普通退職手当 6,000万円→1億円
4,000万円増額

◆本年度末の普通退職者数に合わせ、退職手当を増額

②ふるさと応援基金積立金 2億6,458万円→3億4,634万円
8,176万円増額

◆ふるさと応援寄付金の増額に伴い積立金を増額

③放課後等デイサービス給付費 2億8,800万円→3億300万円
1,500万円増額

◆放課後等デイサービス事業について、民間事業所の増加などに伴う利用者数及び利用回数増による給付費の増額

④被災農業者向け経営体育成支援事業補助金(国補正分) ..1億750万円追加

◆台風24号により被害を受けた農業用施設にかかる復旧支援のため、被災農業者向けの補助金を追加

⑤(農業農村整備事業) 県営事業負担金(国補正分) 3,781万円追加

◆県施行の農道新設改良および土地改良事業等について、事業費が増額されたことによる掛川市の負担金を増額

⑥浅羽地域湛水防除施設組合負担金 290万円→3,476万円
3,186万円増額

◆台風24号により被害を受けた一部事務組合湛水防除施設の災害復旧費を増額

⑦下垂木地区まちづくり事業費 4億9,000万円→4億6,800万円
2,200万円減額

◆下垂木地区の道路改良および河川整備事業等について、国交付金の減額に合わせ、本年度の施工範囲を見直したことによる減額

*その他決算見込みに合わせた精算的な減額



創世会
額岡 慎悟

自動運転車の実証実験を

Q 急増している交通弱者の対策として、自動運転車の実証実験を県や国に働きかけるべきと考えるがいかがか。また、粟ヶ岳世界農業遺産茶草場テラスまでへの実証実験の可能性について伺う。

県や国、企業に働きかけをしていく

A 近未来のバス事業自動運転の各社の取り組みに注目し、実証実験のモデル地区となるように県や国、企業に働きかけをしていきます。また、茶草場テラスまでへの実証実験についても、検討していきます。

教育施設再整備の今後の取り組み方針は

Q 学校施設の老朽化は深刻であり、今後の建て替えや改修には莫大な予算が必要となる。市内公共施設の4割を占める教育施設の再整備の取り組み方針を伺う。



昭和38年建築の土方小学校旧校舎(右)

適正規模・適正配置について検討を進めていく

A これからの子どもたちに望まれる教育環境の整備、小中一貫教育を推進しやすい学校形態、公共施設マネジメントに基づく学校施設のありかたなどの課題について、早急に取り組む必要があります。そのため、全市的に学校の適正規模・適正配置について検討を進めていく方針です。

【その他の質問事項】

・設計業務委託入札について



創世会
松本 均

連雀出張所の終了についてどう説明し検討したのか

Q 終了の理由として市長は、「コンビニ対応が出来る」とし、市民にしっかりと説明し、検討したい」としたが、市民にどのような説明をし、検討をしたのか伺う。

庁内で検討を行い出張所終了の経緯を説明した

A コンビニ交付サービスが市内で40カ所に広がり、戸籍と課税証明が追加されることで、出張所の業務の8割から9割がコンビニ交付サービスで可能となること、および行財政改革の観点から市民課だけでなく、企画政策課等も入って庁内で方向性等の検討をした結果、出張所を終了することとし市民に説明しました。

新元号・天皇即位の祝賀イベントについて伺う

Q 街なかの賑わいのためにも、新元号・天皇即位を、地域や地区にかかわらず、子どもから高齢者まで提灯行列を行い、市をあげて祝う事について伺う。

具体的なことが見えてきた段階で検討する

A 市民をあげての祝賀の行事は、ぜひ進めてもらいたいと思います。掛川市としては、有志の方々を中心とした具体的な計画が見えてきた段階で、協力の在り方を検討します。



掛川市役所連雀出張所



共に創る掛川
藤澤 恭子

家庭内保育をしている家庭へのサポート制度は

Q 家庭内保育のセーフティネットとして、一時預かり保育専用施設や託児センターなどの設置が急務であるがいかがか。

家庭で保育している方の支援を検討していく

A 一時預かり事業を行っている園は、保育園、認定こども園など8園ですが、保育士不足などから、運営を休止している園もあります。また、待機児童への対応の一つにもなっているため、月初めに予約が埋まってしまうところもあります。このような状況を解消するため、保育士の確保と、待機児童の解消を図るとともに、家庭で保育している方の支援の一つとして、一時預かり事業の充実についても検討していきます。

多文化共生の現状と今後の展望は

Q 今後の外国人人口増加を予測して、現在も課題である外国人児童の教育や、その支援員、通訳の不足をどのように検討するか。

人材発掘やICT機器を活用し対応する

A 市内で外国語が話せる人材を発掘し、国際交流センターに登録してもらいます。通訳等に協力していただくとともに、多言語通訳アプリなど、ICT機器を活用した多言語への対応も考えていきます。



通訳をしながら手続きを手伝うセンターの職員



共に創る掛川
松浦 昌巳

人生100年時代を迎え、さらに生涯学習の推進を

Q 生涯お達者のポイントのひとつに「社会参加」がある。生涯学び人と広く関わるために、市内で活動する団体や個人による10分出前講座をまち協等の総会や同窓会などで推進できないか伺う。

出前講座などの学ぶ機会を検討する

A 人生を豊かにする「教養」をバランスよく身につける手法として、出前講座は有効であると思います。掛川市では、生涯学習や協働によるまちづくりにより多くの学びの場が提供されてきました。今では、素晴らしい活動をされている市民や市民活動団体の方が大勢いるので、まち協などの総会やイベント、会合などで出前講座のような学ぶ機会を増やしていけるよ

う、マッチングの機会等を検討していきます。

観光戦略、交流人口増加対策を

Q 最初に人間ドックを受けた後、キャンプ、温泉、三城巡り、花鳥園、周恩来元首相と松本亀次郎氏のろう人形見学や、掛川のおいしい料理とお茶を楽しむ一週間の「丸ごと掛川ツアー」を企画できないか伺う。

掛川の地場産業が潤う観光商品を創り上げる

A 旅行関係者や県の観光協会等と協議をしながら、海外の方を含め、多くの方が掛川を訪れ、地場産業が潤うような観光商品の創出を検討してまいります。



周恩来元首相と松本亀次郎氏のろう人形（大東図書館）



共に創る掛川
鈴木久裕

掛川城と周辺の景観向上を

Q 掛川城周辺区域の景観向上策について、無電柱化の方針並びに、地区計画や掛川市生涯学習まちづくり土地条例に基づく建築物の規制・誘導の方針を伺う。

地域の方々の意向をもとに検討していく

A 平成30年に策定した歴史的風致維持向上計画の中でも、歴史的な街並みに調和した空間の整備を図るための無電柱化を位置づけているので、今後整備エリアや手法を検討していきます。建築物の規制や誘導については、地域住民の理解が欠かせないので、第一・第二地区まちづくり協議会のまちづくり計画を後押しする中で、検討していきます。

小笠山の利活用増進を

Q 小笠山の自然保護や利活用増進のためには、袋井市と広範に連携していくことが必要と思われるがいかがか。かつての小笠山協議会のような組織の再設置も含め、考えを伺う。

中東遠地域での広域的な活用を進める

A 小笠山の自然保護と高度総合利用を図るため、昭和58年に「小笠山協議会」が発足しましたが、現在、協議会は休止状況にあります。エコパの建設や道路整備などの大きな成果もあったので、袋井市と連携協議し、中東遠地域での広域的な活用を進めていきます。



小笠山から掛川市街と南アルプスを望む

学童保育所における支援員の業務の負担軽減を

Q 年1000人規模で増えている学童保育所の入所需要の高まりを考慮し、入所基準の明確化・統一化と、入所までの事務作業を保育園同様に行政が担うシステムの構築が必要と考えるがいかがか。



市内の学童保育の様子

行政も踏み込んで検討していく

A 手続き等については、統一的に事務処理を行えるよう行政も踏み込んで、検討していきます。

健康への意識啓発に若い世代から企業とのタイアップを

Q 20代女性の2割が痩せすぎで、その影響が子どもにも及ぶことから、10代後半の時期に企業とのタイアップにより健康測定や出張健康講座、体操などを実施することが効果を生むと考えるがいかがか。

企業と連携し取り組んでいく

A 平成22年度から市内の高校生へ生活習慣予防の食育講座や命の大切さを伝える社会人講座を実施しています。また、毎年10月に開催している「健康フェア」では、多くの企業に協力いただき、そこに高校生も参加し、健康情報を発信しています。今後もこれらの事業の中で、女性の痩せすぎの弊害について現状を伝え、企業とも連携し、若い人たちが参加しやすい各種測定や、その結果への対処も学べるよう取り組んでいきます。



公明党かけがわ
山本行男

天津市との友好関係を伺う

Q 中国人留学生たちの教育に生涯を捧げた当市出身の松本亀次郎氏と、教え子の周恩来元首相の蠟人形2体が、天津市から友誼の証として寄贈され、大東図書館に展示された。今後、日中交流の拠点になるだろう。天津市との今後の交流について伺う。

A 松本氏と周恩来元首相の関係を歴史的な意味等を含め、改めて掛川市として整理し、市民のみなさんに学んでもらい、2人の功績とともに、後世に伝えていきます。また、両国の歴史を学び合うことが国際親善につながることを考え、大東図書館を松本亀次郎記念館と位置づけ、天津市と信頼関係を深めていきます。

乳児用液体ミルクの災害時備蓄の考えは

Q 国産の液体ミルクが掛川市内の店頭で売りに出される。この液体ミルクは溶かす必要が無いため、災害時に非常に有効であるとして注目されている。備蓄品として導入する考えがあるか伺う。

導入に向け調査・研究をする

A 3月5日からインターネットでの販売が開始された液体ミルクは、災害時に水を使わずに済む利点があります。今後、導入に向け、保存期間や価格など詳細について、調査・研究をしていきます。



3月11日から店頭で販売されている液体ミルク

改正入管法に伴う外国人への対応は

Q 市内企業の外国人人材の受け入れ拡大が見込まれるが、行政としての今後の対応を伺う。

適正・円滑な受け入れの促進等に取り組む

A 静岡県労働局やハローワーク掛川等と連携し、外国人材の適正・円滑な受け入れの促進、雇用や労働環境の改善に取り組みます。また、多文化共生推進本部会議を設置し、多文化共生の取り組みをさらに推進するとともに、課題解決に向け取り組んでいきます。



創世会
山本裕三

外国人の子どもたちへの教育に関して

Q 外国人の子どもたちへの語学教育に関して、教員の確保が難しい状況下で、さらなる日本語教育の充実や学校の負担軽減、そして日本語が苦手な外国人の子どもたちのためにも教育機関の指定校化を含めた一定の集約化も必要であると考えられるが見解を伺う。



ベトナムの学生

外国籍の方の視点を踏まえ慎重に考えていく

A たしかに、学校に対してはかなりの手厚い支援が必要になるかと思えます。学校の負担軽減を考えると集約化も一つの方法ですが、子どもがその生活になじめず不登校になってしまう心配や送迎の課題も生じます。集約化することが、外国籍のお子さん、保護者にとって本当に良いのか慎重に考えていきます。



創世会
藤原 正光

脱炭素社会に向けて

Q 事業活動を再生可能エネルギーで賄う市内企業の支援や、庁内ペーパーレス化につながるオフィス改革をし、温室効果ガスの大幅削減を推進するとともに、世界気候エネルギー首長誓約に署名登録する考えはないか伺う。

A **着実に脱炭素化を進めている**
現在、掛川市ではパリ協定に批准した国の数値を目標に、地球温暖化防止実行計画の更新をしています。今後着実に脱炭素化を進めるために、市民・事業者・行政の協働で取り組む新電力の設立やスマートハウス、スマートオフィスの普及拡大などの取り組みを進め、署名登録については検討していきます。

これまでの事業を世界のものさしSDGsで捉えては

Q 次世代への啓発や、企業・大学・NPOとの連携を考えたSDGsを推進するために、市長を本部長とするSDGs推進本部を設置してはいかがでしょうか。

A **SDGsの視点を反映した施策を組み立てていく**
来年度に総合計画の基本計画を見直し、SDGsの視点を反映した施策を組み立てていきます。各施策の推進にあたり、SDGsの視点で、毎年進捗管理や点検を行うことは大変有効なので、推進本部を立ち上げ、部署間、施策間の連携を図り推進していきます。



市内の再生可能エネルギー設備

日本共産党
勝川 志保子

原発事故から市民の命を守るために、安全協定の見直しを

Q 四市で結ばれている安全協定には、再稼働事前了解事項がない。協定見直しのための勉強会開催や、東海第2原発への職員派遣をすべきではないか。

A **東海第2原発に赴き確認をする**
職員に対しては、東海第2原発周辺市村に行つて、協定をどういう経緯で締結したのか確認をしていくことが大切だと伝えてあります。



掛川市原子力災害広域避難計画

保育・学童保育の待機児童解消のための施設整備を

Q 基準違反となつている学童保育所の緊急施設整備と、待機児童をなくす子ども子育て支援事業計画目標設定の在り方は。

A **対応や方策を検討する**
基準をオーバーしているところはしっかりと対応を検討し、補正予算で改修を行います。計画数値目標については、将来推計人口やアンケート調査の結果を基に、考えられる影響要素を考慮してできる限り正確にニーズ量を算定し必要な確保方策を検討していきます。

【その他の質問事項】
・動物愛護法の精神に立ち、ペットなどの愛玩動物と共生できるまちづくりについて
・子育て支援策（国保均等割免除・給食費助成）について



創世会
二村 禮一

待機児童対策は

Q 幼児教育・保育無償化で新たな需要が掘り起こされ、かつて待機児童が増えることが懸念される。その点についての対策を伺う。

施設整備を図りながら待機児童対策を進める

A すぐかけっこ保育園の拡張やこども広場あんりの定員変更、おおさかこども園の開園、小規模保育事業所2園の開園により、認可定員が171人増員します。また、2つの企業内保育所が開園する予定です。今後は、南西郷地内へ認可保育園の建設や智光幼稚園の認定こども園化で保育定員の増を支援するとともに、次期「子ども・子育て支援事業計画」に基づく施設整備により待機児童対策を進めていきます。

保育士の確保策は

Q 保育需要増大に伴う保育士の確保策について伺う。

相談会や貸付事業で人材を確保する

A 市内外の保育士や幼稚園教諭などの人材を確保し子育て施策の充実を図るため、市内の子育て関係施設が一堂に会して、情報提供や個別相談を行う相談会を開催しています。また、平成31年度より、保育士等就職応援資金貸付事業を実施し、市内の保育所等に勤務を希望する保育士や幼稚園教諭の方に、就職に必要な費用を貸与して人材確保を図っていきます。



平成31年4月1日から認定こども園として開園した「おおさかこども園」

至誠の会
鷺山 喜久

「特別の教科である道徳」をどのように取り組むのか

Q 国の検定に合格した教科書が使用される「特別の教科である道徳」が全国の中学校でこの四月から始まる。成績は他の教科の五段階とは違う。市内中学校ではどのように取り組むのか伺う。

記述式で評価を行う

A 学習指導要領では、数値なものとなつていません。他の生徒との比較ではなく、観察や会話、作文など学習の過程や成果の記録などの蓄積をもとに、その子がいかに成長したかを積極的に受け止めて、記述式で評価を行っています。

杉谷の「めばえ」の施設は、限界である。改善を

Q こども発達センター「めばえ」の利用者は増加傾向にあり、受入れできない状況で、構成市町のうち、掛川市からの利用者は半数以上を占めている。駐車場やプレハブ教室等、市としての考えを伺う。



こども発達センター めばえ

拡充に向け検討を進めている

A 仮設園舎を建設したこと、で、全体の視界も悪くなり、保育スペースも駐車場も狭い状況です。そこで、構成3市1町の担当課長と係長で組織する「東遠地区発達支援システム推進委員会」を設置し、3箇所目の児童発達支援センターの整備を含め、拡充に向けた検討を進めています。

【その他の質問事項】 ・副市長人事について

2月定例会における審議結果一覧

■全会一致で可決・承認・同意

平成31年度予算	掛川市公共用地取得特別会計予算について
	掛川駅周辺施設管理特別会計予算について
	大坂・土方工業用地整備事業特別会計予算について
	掛川市簡易水道特別会計予算について
	掛川市公共下水道事業特別会計予算について
	掛川市農業集落排水事業特別会計予算について
	掛川市浄化槽市町村設置推進事業特別会計予算について
	上西郷財産区特別会計予算について
	桜木財産区特別会計予算について
	東山財産区特別会計予算について
佐東財産区特別会計予算について	
掛川市水道事業会計予算について	

平成30年度補正予算	掛川市後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第3号）について
	掛川市公共用地取得特別会計補正予算（第1号）について
	掛川駅周辺施設管理特別会計補正予算（第2号）について
	掛川市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）について

条例	掛川市保育士等就職応援資金貸与条例の制定について
	掛川市緑茶で乾杯条例の制定について
	掛川市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について
掛川市表彰条例の一部改正について	

条例	掛川市部設置条例の一部改正について
	掛川市職員定数条例の一部改正について
	掛川市国民健康保険税条例の一部改正について
	掛川市介護保険条例の一部改正について
	掛川市公共施設維持基金条例の一部改正について
	掛川市防災会議条例の一部改正について
	掛川市国民保護協議会条例の一部改正について
	掛川市立学校設置条例の一部改正について
	掛川市における旅館業を目的とする建築の規制に関する条例の廃止について

その他	静岡地方税滞納整理機構規約の変更について
	市道掛川高瀬線道路改良工事請負契約の締結について
	市道掛川高瀬線道路改良工事変更請負契約の締結について
	辺地総合整備計画の変更について
	字の区域の変更について（南西郷地区等）
	掛川市道路線の廃止について
掛川市道路線の変更について	
専決処分の承認を求めることについて（平成30年度掛川市一般会計補正予算（第6号））	

人事	掛川市外2組合公平委員会委員の選任について
	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて4件

議発	掛川市防災意識の高いまちづくりを推進する条例の制定について
	掛川市議会委員会条例の一部改正について

■賛否の分かれた議案（賛成多数で可決・同意） ○賛成 ×反対 一欠席

議案名	議員名	創世会								共に創る掛川				至*	志*	公*	共*						
		鈴木正治	藤原正光	嶺岡慎悟	寺田幸弘	榛村航一	松本均	大石勇	小沼秀朗	野口安男	山本裕三	二村禮一	鈴木久裕	松浦昌巳	富田まゆみ	藤澤恭子	窪野愛子	榛葉正樹	鷲山喜久	草賀章吉	山本行男	勝川志保子	
平成31年度掛川市一般会計予算について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成31年度掛川市国民健康保険特別会計予算について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成31年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計予算について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成31年度掛川市介護保険特別会計予算について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
消費税率及び地方消費税率の引上げに伴う関係条例の整理に関する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
掛川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
掛川市再開発住宅管理条例及び掛川市住環境整備モデル住宅管理条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成30年度掛川市一般会計補正予算（第7号）について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成30年度掛川市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成30年度掛川市介護保険特別会計補正予算（第3号）について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
掛川市道路線の認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
公の施設の指定管理者の指定について（掛川市再開発住宅）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
公の施設の指定管理者の指定について（掛川市住環境整備モデル住宅）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
掛川市副市長の選任について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○

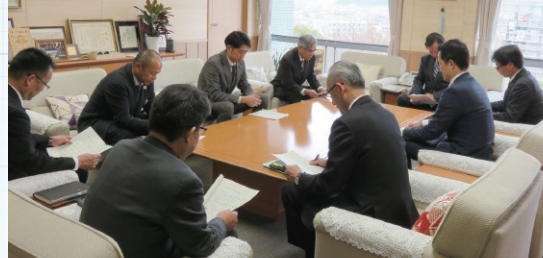
※議長（鈴木正治）は、採決には参加しません *至▶至誠の会 志▶志誠会 公▶公明党かけがわ 共▶日本共産党

掛川市議会 政策提言

各常任委員会が1年間テーマ制による調査研究を進め、11月の議会報告会で、中間報告を行いながら、市民意見を聴取し、検討を重ねてきました。この中から、2つを取り上げ、全議員で政策討論を重ね、提言書としてまとめ、平成31年3月28日に掛川市長へ提出しました。



議長から市長へ提言書を渡す



提言書の内容を市長へ説明

掛川市の都市づくりと地区自治組織のあり方について

- (1) 本市の都市づくりの上位計画として位置づけられている『掛川市都市計画マスタープラン（多極ネットワーク型コンパクトシティ）』を行政が地区に赴いて広く市民に周知するとともに、市民との対話を基本にした協働のまちづくりを進めていくこと。
- (2) 掛川市自治基本条例第24条第2項の『自治組織としての地区』と掛川市協働のまちづくり推進条例第8条に定める『まちづくり協議会』との位置づけを整理したうえで、自治組織としての地区の規約策定を進めるとともに、並立している地区内諸組織の統合化を推進し、地区を代表する組織及び代表者を地区の実情に合わせ明確にするよう促していくこと。
- (3) 地区の事務局は、地区区長会とまちづくり協議会事業のほか、地区の一元的な運営に関わる重要な担い手であるので、市の支援制度として、人員の充実及び処遇の改善を図ること。
- (4) 交付金については基準を見直したうえで、公平性の確保をしていくこと。

掛川の森のあり方や活用方法を考えた再生可能エネルギーの推進について

- (1) 太陽光パネル設置等に関するガイドラインを早急に作成し、事業主体者、関連機関に周知すること。
- (2) 東山及び板沢地区の指定希少野生動植物種保護地区（*1）をはじめとした市内の里山を守り、生物多様性を考慮しながら有害鳥獣異常発生の抑制を図って、環境整備、環境保全を行うこと。
- (3) 自然と調和のとれた再生可能エネルギーの開発と適切な農地活用に努めること。
- (4) 森林環境譲与税の用途については、広く市民と共に考え有効的に利活用すること。
- (5) 山や森への関心をもち自然を大切にすることを養うように「木育」を推進すること。
- (6) 災害時に有効活用できる、スマート公会堂や、スマート地域生涯学習センター等の整備を推進すること。
- (7) 発電と蓄電の上手な使い方等を市民へ伝え、各戸の太陽光発電施設、蓄電池施設の設置推進に向けた補助事業の拡充を図ること。
- (8) シュタットベルケ（*2）導入に向け、市民、民間との協議・連携を深めながら、電力の自由化を含め、余剰電力の有効活用を推進すること。
- (9) シュタットベルケによるエネルギーの地産地消を通して、市民への環境教育を推進すること。
- (10) 地球温暖化による環境変化と掛川市で取り組むべき環境政策を市民に丁寧に説明し、明確な目標を掲げ行政と市民が一丸となって取り組んでいくこと。

（*1）地域住民と共に守っていくために、自治区代表者・地権者代表者・掛川市長との三者による協定締結（東山・フジタイゲキ、カケガワフキバッタ 板沢・スジヒツバ） （*2）掛川市地域新電力事業システム

特別委員会委員長報告

特定の課題を審査するために設置された特別委員会は、それぞれのテーマに基づき、1年間施策の検討を行ってきました。その内容を抜粋して掲載します。

観光振興特別委員会

委員長 大石 勇

世界規模のスポーツイベントが3年にわたり開催されます。この機会に市の魅力を世界にアピールするため、観光振興について3つのテーマを協議し、次のとおり提言しました。

1 国内外から多くの観戦客観光客を掛川市に呼び込むための仕掛け

おもてなし委員会の活動がさらに活発に展開できるよう支援すること

2 観戦客観光客に快適に過ごしていただくための環境整備

多言語観光案内看板を設置すること

3 5年先10年先を見据えた観光振興のあり方について

自然や歴史文化等の地域資源を今以上に充実させ消費者ニーズに合った体験型や滞在型の商品を開発すること



市内現地視察（五明茶業組合）

防災意識向上特別委員会

委員長 山本行男

2つのテーマについて、1年間協議し次のとおりまとめました。

1 『掛川市防災意識の高いまちづくりを推進する条例』

平成29年度に皆様から要望が一番多かった「防災に関すること」を議会報告会のテーマとして取り上げました。そこで、「近年多発する豪雨災害で避難情報が出ているにも関わらず、避難しようとしめない住民が多くいる。避難しない方々の意識の中に、今までこの地域で大きな災害が一度もないので今回も大丈夫との思いがあり、結果的に大きな人災に結び付いている。」などの指摘をいただきました。

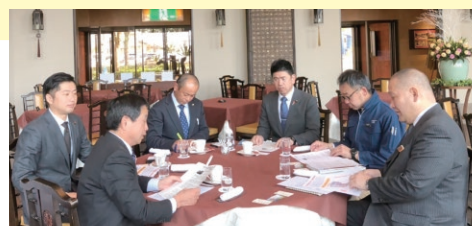
委員会ではこれらの指摘を踏まえ、防災を意識する機会をみんなで増やし習慣化していくことを目的とした条例が必要と考え策定しました。条例では第1条から第8条までを定め市民・事業者・市の責務などを明確にしています。災害を「我がこと」とする意識改革や人が集まる場での避難方法の周知、買い物中に店内で防災に関するアナウンスを流すなどの環境をつくり「日本一防災意識の高いまち」を目指しています。

議員発議
で可決

2 『市議会BCP※の策定』について

非常時も二元代表制の一翼を担う住民の代表機関、議事機関としてまとめました。

- a 災害時における議員の役割と行動指針
- b 迅速な議会機能の回復を図り、市民ニーズを反映した復旧・復興の取り組みを明記



事業所との意見交換

※災害などで業務が中断しないようにするため、平時から戦略的に準備する計画

議会日誌

1月

- 9日(水) ○議会だより編集特別委員会
- 11日(金) ○議会運営委員会
- 16日(水) ○静岡県西部地区市議会議長協議会(牧之原市)
- 18日(金) ○全員協議会
○議員研修会
- 23日(水) ○観光振興特別委員会
- 24日(木) ○文教厚生委員会協議会
- 25日(金) ○環境産業委員会協議会
○総務委員会協議会
○掛川市・袋井市合同議員研修会
- 30日(水) ○静岡県地方議会議長連絡協議会
- 31日(木) ○静岡県市議会議長会正副会長監事会(下田市)
○静岡県市議会議長会定期総会(下田市)

2月

- 1日(金) ○東遠地区聖苑組合議会
○小笠老人ホーム施設組合議会
- 4日(月) ○東遠広域施設組合議会
- 7日(木) ○総務委員会協議会
○東遠工業用水道企業団議会
- 8日(金) ○掛川市・袋井市病院企業団議会
○東遠学園組合議会
○文教厚生委員会協議会
- 12日(火) ○全員協議会
- 13日(水) ○議会運営委員会
○議員懇談会
- 15日(金) ○防災意識向上特別委員会
- 18日(月) ○環境産業委員会現地視察・協議会
- 19日(火) ○太田川原野谷川治水水防組合議会
○中東遠看護専門学校組合議会
○浅羽地域湛水防除施設組合議会
- 20日(水)~3月22日(金)
○掛川市議会第1回(2月)定例会

- 20日(水) ○防災意識向上特別委員会
- 22日(金) ○掛川市・菊川市衛生施設組合議会
- 27日(水) ○議会だより編集特別委員会

3月

- 1日(金) ○議会運営委員会
- 5日(火) ○政策討論会幹事会
- 6日(水) ○議会運営委員会
- 12日(火) ○環境産業委員会協議会
- 13日(水) ○第1回政策討論会
○議員懇談会
- 15日(金) ○大井川広域水道企業団議会
- 19日(火) ○議会運営委員会
- 28日(木) ○第2回政策討論会
○政策提言

4月

- 4日(木) ○議会だより編集特別委員会
- 9日(火) ○議会だより編集特別委員会
- 11日(木) ○東海市議会議長会定期総会(三重県津市)

5月臨時会・6月定例会の予定

5月

- 14日(火) 臨時会(議会構成等)

6月

- 13日(木) 本会議(開会・議案の提案説明)
- 27日(木) 本会議(一般質問)
- 28日(金) 本会議(一般質問)

7月

- 1日(月) 本会議(一般質問、議案質疑、委員会付託) 常任委員会
- 8日(月) 本会議(閉会)

傍聴席

喫緊の課題・子供の放課後支援と、人生100年時代の健康づくりの質疑応答を傍聴した。時宜にかなった質問であった。他にも課題はある。団塊世代の高齢化に伴う介護需要に配慮されるのか、現役世代が70歳近くまで生産的に働くための成人教育の機会はあるのか。生涯学習が引退後の趣味の提供だけになってはいないか。一方、財源の配分以上に財源の確保も課題。地域産業の発展と、知識やスキルを持った働き手の育成は必須。より高い次元・広い視野からの議論をしていただきたい。「前向きに検討する」ではなく、やる(いつ)やら(な)ない(なぜ)を明確に答弁していただきたい。

大庭純一(大坂区)

議員辞職の お知らせ

○野口安男議員(平成31年3月22日辞職)
議員より辞職願いが提出され、地方自治法第一二六条の規定に基づき、議会が辞職を許可しました。
○榛葉正樹副議長(平成31年3月29日辞職)
静岡県議会議員選挙に立候補したため、公職選挙法第九十条の規定に基づき、辞職となりました。

編集後記

本日から新しい元号に変わるといふ、ひとつの時代の転換期を迎えようとしています。新たな気持ちを持って日本を支えていこうという気持ちにもなりますね。平成最後の編集特別委員会として、手に取ってもらえる工夫をと空気を考えて読みたくなる文字量を考えてきました。表紙に想いを込め、季節や時の話題などテーマを絞り、ベストショットを狙ってきました。何事にも物語りあり。一枚の写真に関わる方象にも思い巡らせていただければ幸いです。早いもので2年の任期が終わろうとしています。この「市議会だより」の大幅リニューアルなどの大きな役割を担うことができました。「議会は何を議論しているのか」「議員は何をしているのか」の全てをお伝えすることは出来ませんでした。が、議会としても、工夫しながら「伝える」努力を重ねてきました。現在のメンバーですが、これからも進化する「議会だより」にご期待ください。

議会だより編集特別委員会
委員 藤原正光